

教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

学年の目標

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などに関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけるようにする。
- (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化にしたいむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

評価の観点

月	内容の まとめ	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	て、曲 の 歌 精 度 を 保 持 し て 表 現 を 工 夫 し て	校歌 ・ 夢の世界	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声・言葉の発音・身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	音色・リズム・テクスチャ・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したこととの関りについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	歌詞の内容や曲想に関心を持ち、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組むことができる。
5	夫、曲 し、想 よ、器 う、楽 表、感 現、じ を、取 工、つ	喜びの 歌	・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。	音色・旋律・テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
6	曲想と音 楽の構造 との関わり を理解して、 その魅力を 味わおう	交響曲 第5番	曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	音色・旋律・テクスチャ・形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
7	仲間と ともに、表 情豊かに 合唱しよう。	合唱コ ンクー ルの曲	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声・言葉の発音・身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	音色・旋律・強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したこととの関りについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
9	曲想と歌 詞の内容と の関わり を理解して、 歌唱表現を 工夫しよう	夏の思 い出 ・ 荒城の 月	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声・言葉の発音・身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	・速度の変化・強弱の変化などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じることができる。 ・知覚・感受しながら、声部の役割や全体の響きを感じ取って音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもつことができる。	歌詞の内容や曲想に関心を持ち、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組むことができる。 ・声部の役割や全体の響きに関心を持ち、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組むことができる。

10	曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう	サンタールチャ	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声・言葉の発音・身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	・速度の変化・強弱の変化などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受することができる。 ・知覚・感受しながら、声部の役割や全体の響きを感じ取って音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもつことができる。	歌詞の内容や曲想に関心をもち、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組むことができる。 ・声部の役割や全体の響きに関心をもち、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組むことができる。
11	オペラに親しみ、その魅力を味わおう	アイダ	曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	音色・旋律・テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
12・1	楽器の音色と奏法との関わりを理解して、器楽表現を工夫しよう	ギター（カントリロード）	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。	音色・リズム・テクスチュア・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受しながら、知覚したことと関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
2	世界の様々な音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう	世界の諸民族の音楽	諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。	音色・リズム・旋律・テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
3	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう	校歌・卒業式の曲	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声・言葉の発音・身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	旋律・形式・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図を持っている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
評価方法		単元テスト		ペーパーテスト レポート	振り返りシート 授業態度 行動観察

学習の進め方

- ・1週間に1回の授業なので一回一回を大切に、また授業内で内容を理解することを柱に置き授業を展開します。
- ・毎時間、授業始めに欠かさず忘れ物✔から始め、単元ごとに振り返りシートを記入させ習熟度を測ります。
- ・歌唱や器楽に関しては、単元終わりに(一人・ペア・グループ)ごとにテストを行い、その都度評価を伝えていきます。